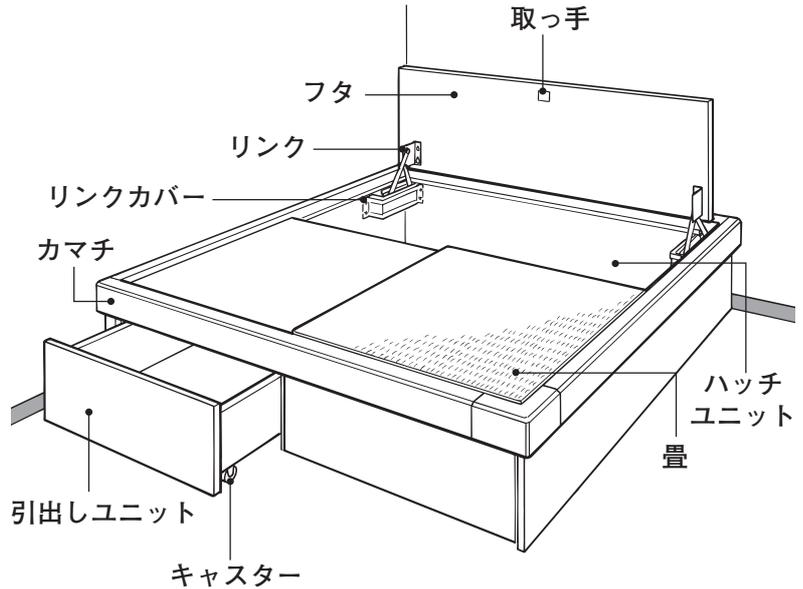


取扱説明書 畳コーナー収納ユニット 品番：MHJ・MHJBシリーズ

畳が丘

このたびは、「畳コーナー収納ユニット 畳が丘」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(表紙、2ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お引き渡し日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この商品は、一般住宅、それに準じる居住施設および高齢者施設、小規模商業施設(床面積150m²未満)の屋内専用商品です。土足で利用される建物でのご使用や他の用途へのご使用はおやめください。不特定多数の方が利用する建築物(学校、体育館、その他小規模商業施設であっても不特定多数の方が利用する施設など)や、過酷な条件(高温・多湿、寒冷、油分が多いなど)でのご使用はおやめください。
- 屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。



※図はカマチ仕様の2畳タイプの場合

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。
- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

 分解禁止	<p>●絶対に分解したり、修理・改造しない</p> <p>けがや事故・故障の原因となります。修理は販売店へご相談ください。</p>	 禁止	<p>●サイドカウンターやハッチユニット・引出しの中に入ったり、お子様を遊ばせない</p> <p>はさまれてけがをしたり、閉じこめられて事故の原因となります。</p>
----------	---	--------	---

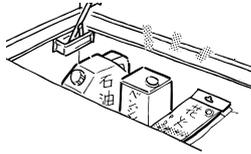
販売店・工事店様へ：この取扱説明書は施工後、施主様へ必ずお渡しください。

警告



禁止

- 石油・ベンジンなどの危険物はいれない
爆発・火災などの原因となります。



火気禁止

- 畳の上やユニットの中にたばこを落としたり、引火物を入れたりしない
火災の原因となります。

注意

- カメラ・貴金属・骨董品など湿気を嫌うものは入れない
故障・損傷・変形やさびの原因となります。

- フタが開いている時はフタにもたれ掛からない



転倒し、けがの原因となります。

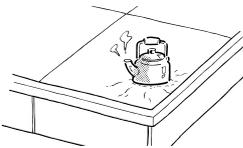
- 畳コーナー収納ユニットに飛び乗ったり、上で飛びはねたり、飛び下りたりしない



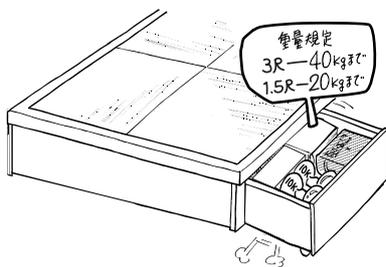
ユニットが破損したり、けがの原因となります。

- 畳コーナー収納ユニットの上に、使用中のアイロンや熱いやかんなどを直に置かない

やけどをしたり、畳・カマチの変色・フクレの原因となります。



- ものをのせすぎたり、入れすぎない。
けが、破損の原因となります。



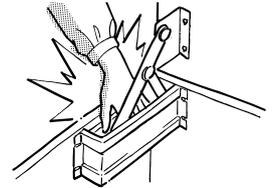
- 引出しユニット
1.5尺 ————— 20kg
3尺 ————— 40kg



禁止

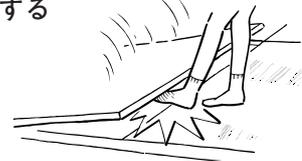
- リンクのバーの間やリンクカバー内に、手や物を入れない

手や指をはさみ込み、けがの原因となります。



- フタ・引出しを閉める時は、手足のはさみ込みに注意する

注意しないと、けがの原因となります。



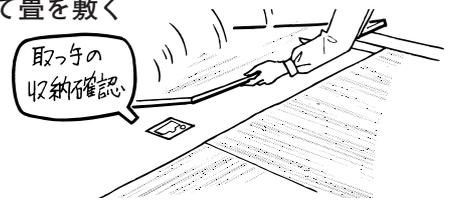
- 畳コーナー収納ユニットへ上がるときは、一度腰掛けてから上がるようにする

引出しやカマチにつまづいたり、カマチ面ですべるなどして、けがの原因となります。



- 使用後は必ずフタを閉め、取っ手を収納して畳を敷く

取っ手の収納確認



畳に段差があると、つまづいてケガの原因となります。

- ユニットに人が上がる時は、必ずフタ板に畳を敷いて規定の人数（重量規定）を守る

半畳につき1人（または100kg）

守らないとユニットが破損したり、けがの原因となります。



- 長期間の使用によりフタ・畳が浮いてきた場合は使用を控え修理を依頼する
フタ・畳に段差があると、つまづきや転倒の原因となります。



禁止



必ず守る

使用前のご注意

畳コーナー収納ユニットについて

- 畳コーナー収納ユニットは床面に固定されておりませんので、地震などで位置がずれるおそれがあります。
- 過度な力で押ししたり、衝撃を与えないでください。(壁面や床面を傷つけるおそれがあります。)

ベッドとして使用する場合

- ふとんは敷いたままにしないでください。(湿気がこもり、カビやダニ発生の原因となります。)

畳について

- 畳は目の向きをたて・横交互に置きますので、光が当たることでも市松模様に見えます。

ユニットの許容重量

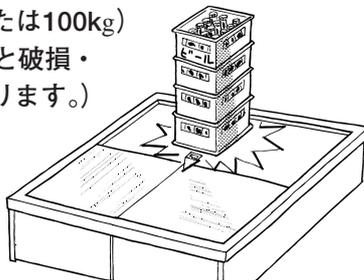
・ハッチユニット

1.0尺	70kg	6尺	450kg
1.5尺	110kg	三角コーナー	110kg
3尺	225kg		

使用上のご注意

■畳・フタについて

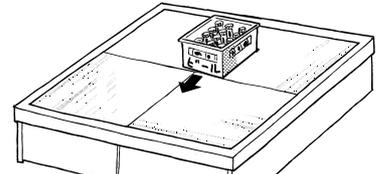
フタの上に重いものを置かないでください。また局部に過大な過重をかけないでください。(半畳につき1人(または100kg)以上の荷重をかけると破損・変形するおそれがあります。)



畳の上で、ものを引きずったり、引っぱったりしないでください。(配膳台やテーブル、イスなどの脚が角張ったタイプの場合は特に注意をしてください。)



畳表が割れ、目がすくなど、畳がいたむ原因となります。配膳などで傷みやすくなる出入口付近は、マットなどで保護してください。

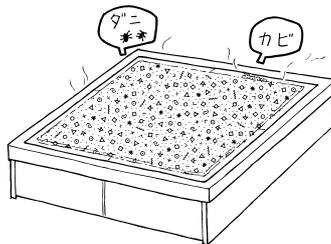


■畳について

- 畳の上にじゅうたんなどの重ね敷きはしないでください。
- 寝室プランでご使用の場合、ふとんは敷いたままにしないでください。



湿気がこもり、カビやダニ発生の原因となります。



畳に飲み物や調味料をこぼした場合は、すぐに乾いたタオルなどでふき取ってください。また、ぬれた布・タオルなどを畳の上に放置しないでください。

畳の腐敗・変色の原因となります。

※畳の取り替えについては「メンテナンス」を参照してください。

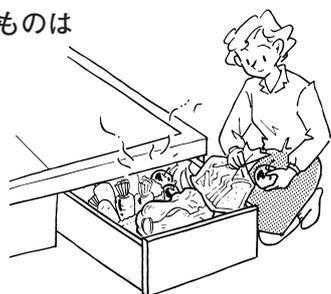


■収納物について

生もの・化学変化するものは入れないでください。

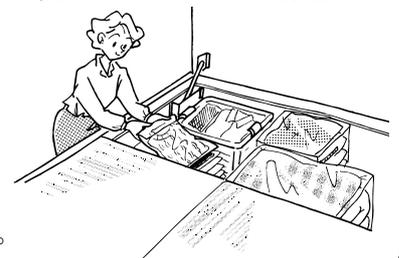


臭気・汚れの原因となります。



衣類・布団などはポリ袋やケースに入れて保管してください。

収納庫内に湿気がこもるおそれがある場合には、市販の除湿剤を入れてください。



■引出しのキャスターについて

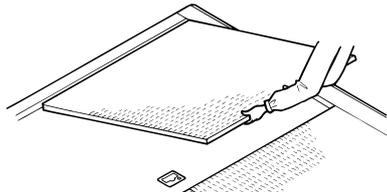
キャスターには床に傷などがつきにくい材質を使用していますが、温度条件・荷重のかけ過ぎなどによって、床に跡がつく場合があります。

使いかた

ハッチ

■フタの開閉のしかた

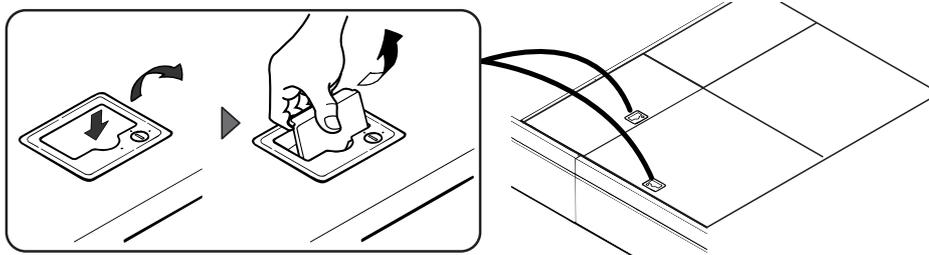
1. 畳を取り外す。



2. コインを用いて、
取っ手のロック
を解除する。

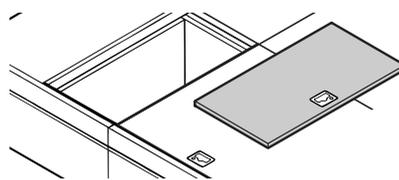


3. 取っ手を押し、
フタを開ける。



置きフタ (0.5尺・1.0尺・1.5尺ハッチユニット、三角コーナー) の場合

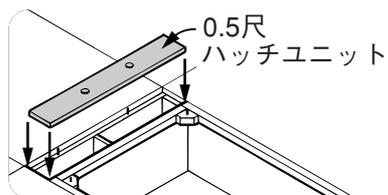
●ユニットの使用時、外したフタは図の
ように置いてください。
(床面に立てかけて置くと、倒れて床面
を傷つけるおそれがあります。)



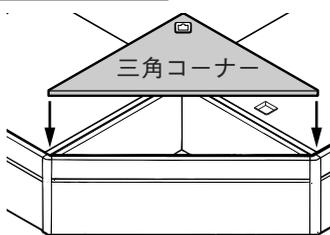
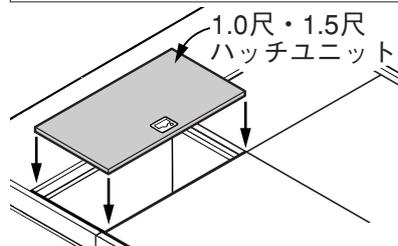
●ユニットの使用後は、図のようにフタを納めてください。

0.5尺ハッチユニットの場合

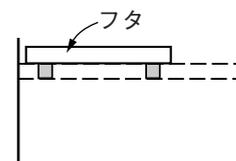
ダボ穴にあわせてフタを置く。



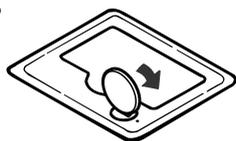
1.0尺・1.5尺ハッチユニット、三角コーナーの場合



※フタ裏面の部材が確実に納まっていることを確認してください。

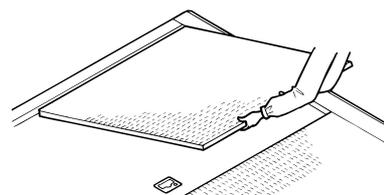


4. 使用後、ロックをする。



5. 畳を戻す。

畳の端をカマチにあててから入れると、
きれいに戻せます。



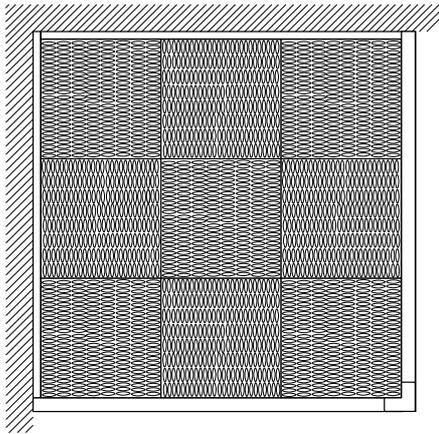
! 注意

!
必ず守る

●使用後は必ずフタを
ロックする
お子さまのいたずらにより、
けがの原因となります。

■ 畳の置きかた

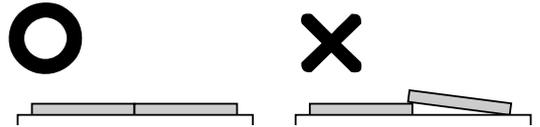
- 畳の目の方向が交互になるように畳を置く。



※図はカマチ仕様の4.5畳プランの場合

注意

- 畳と畳の面がそろるように置いてください。

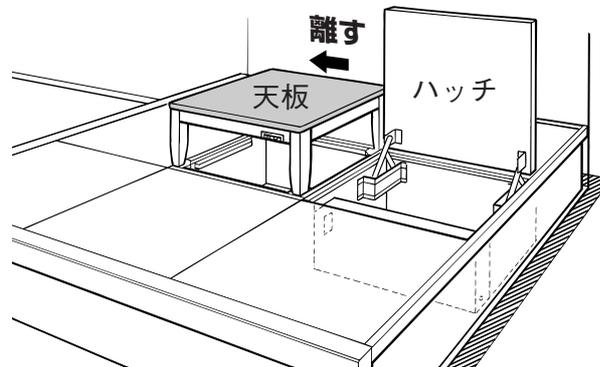


■ 掘座卓と併設時のフタの開閉について

- ハッチのフタの開閉は、天板をフタの反対側へ離してから行ってください。

天板に現代けやきをお使いの場合※や天板が片側に寄っている場合はハッチのフタと天板がこすれるおそれがあります。

※現代けやきの天板は框外寸より大きいため。

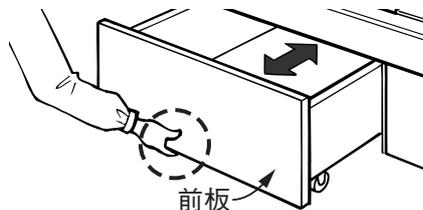


引出し

■ 引出しの出し入れのしかた

- 前板の下側を持ちながら、出し入れしてください。

※勢いよく開閉しないでください。
(床面に傷がつくおそれがあります。)



注意

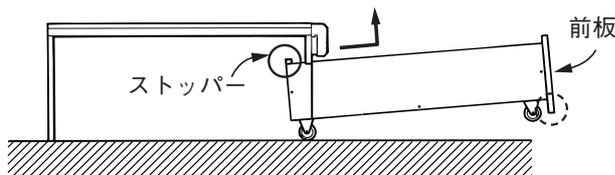


必ず守る

- 必ず前板の下側を持ちながら開閉する
手や指をはさみ込み、けがの原因となります。

■ 引出しを抜く場合

- 一度全開まで引出しを出した後、引出しの前板を持ち上げて、ストッパーをかわして浮かしながら引き抜いてください。
(引出しを戻す時は逆の手順で行ってください。)



注意



必ず守る

- 重い収納物はあらかじめ取りのぞいてから、ゆっくり引出す
引出しが破損したり、落とした場合、けがの原因となります。

お手入れのしかた

注意



必ず守る

●お手入れや収納物入れ替えの際、お子様を周囲で遊ばせない
手をはさんだり、角部でけがをする原因となります。

ハッチ・引出し

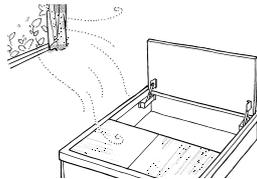
- 庫内および外周は、掃除機で軽く清掃してください。



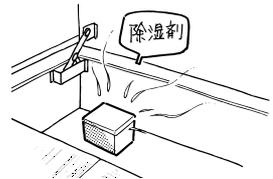
- ふき掃除はからぶきしてください。(水はつけないでください。)



- 天気の良い日は、開いた状態で風通しを良くしてください。



- 収納庫に湿気が多い場合には、市販の除湿剤を入れてください。

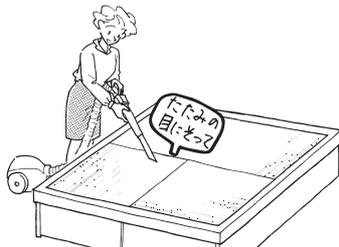


- ユニット・リンク・キャスターなどのねじおよびカシメ部分がゆるんだり、がたついたりしていないか、時々確認してください。

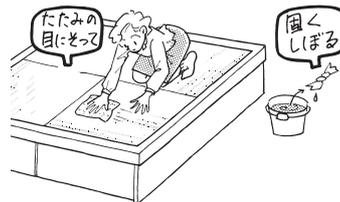
- 薬品が付着した場合は、すばやく除去してください。薬品の種類や放置時間によって、表面材や部品が変色する場合があります。

畳

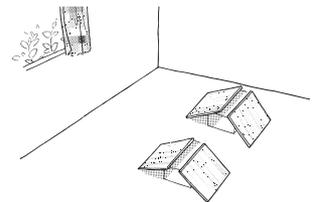
- 掃除機を使用する際は、畳の目に沿って表面を軽く清掃してください。(強くかけると畳がいたむ原因となります。)



- 通常のお手入れは、固くしぼったぞうきんで畳の目に沿ってふいてください。(洗剤などは使用しないでください。)



- 畳に湿気がこもらないように、年2回程度は風通しの良いところに畳を置いてください。(湿気がこもるとカビ・ダニ発生の原因となります。)



メンテナンス

■畳について

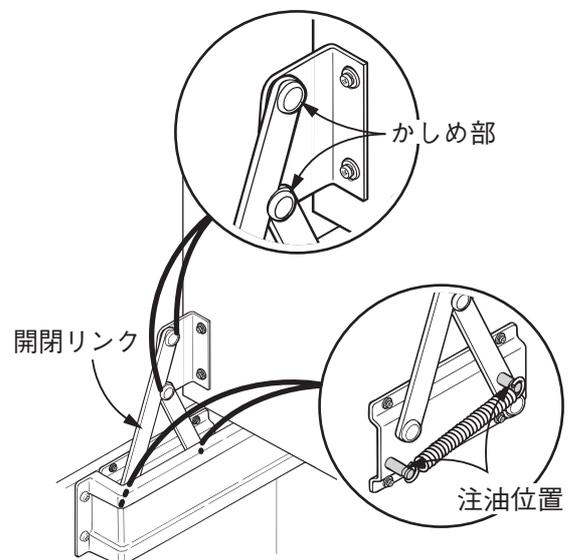
- 長期間のご使用により畳がいたんだ場合には、別売の「畳コーナー収納ユニット用薄畳」をご注文頂き、お取り替えください。畳の交換時のご相談は、お買い求めの販売店・工事店またはお客様相談窓口へお申し付けください。
[例：畳表が折れる・しみがついた・目がすく・たて糸が見えるなど]

■開閉リンクについて

- 開閉リンクから金属のこすれる音がする場合は、図の位置に市販の潤滑油を注油してください。(つけ過ぎてユニット内部、収納物にかからないようご注意ください。)
- 開閉リンクのかしめ部に緩みやがたつきがないことをご確認ください。(かしめ部の緩みやがたつきは、フタや畳が浮く原因となります。)

■掘座卓との併設について

- 掘座卓と並設されている場合、電源ラインの確認で配線カバーを開ける場合は、電気工事店様へご依頼ください。



*お客様	お名前	様
	ご住所	
	電話番号	
*販売店	取扱販売店名・住所・電話番号	

*お引き渡し日	年	月	日
シリーズ・品番			
保証期間（お引き渡し日から）	本体2年間		

ご販売店様へ 上記*印欄は必ず記入してお渡してください。

無料修理規定

本書はお引き渡し日から本書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様ご相談窓口にご連絡ください。
 - (ハ) この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の故意・過失または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) 消耗部品（豊など）の取替えや修理
 - (ハ) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - (ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）などによる故障および損傷
 - (ホ) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
 - (ヘ) 仕上げの傷などで、お引渡し時に申し出がなかったもの
 - (ト) 瑕疵によらない自然の磨耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
 - (チ) 維持管理の不備による汚れ、さびなどの不具合
 - (リ) 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する損傷や故障
 - (ヌ) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合
 - (ル) 保証期間経過後に申し出があったもの、または保証期間経過後の発生後、速やかに申し出がなかったもの
 - (ヲ) 用途外に使用された場合の故障および損傷
 - (ワ) 本書のご提示がない場合
 - (カ) 保証書にお引渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (コ) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に準ずる実費
 - (ク) 納入後、1年以上経過した場合の虫害
- 無料修理により取り外された部品・製品は、弊社の所有になります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- お客様ご相談窓口は裏面をご参照ください。

修理メモ

*お客様にご記入いただいた個人情報、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますのでご了承ください。

*この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などのご相談は

- まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。
- お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名	_____
電話	_____
お引き渡し日	____年 ____月 ____日

■保証書 (7ページ)

お引き渡し日・販売店名などの記入を確かめ、お買い上げの販売店からお受け取り、保管してください。

保証期間：お引き渡し日から本体2年間

■補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の機能を維持するために必要な部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

修理を依頼される時

- まず、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■ご連絡いただきたい内容

- ①品名
- ②品番
- ③お引き渡し日
- ④異常の状況 (できるだけ具体的に)

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

- 保証期間を過ぎているときは、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

- 修理料金は次の内容で構成されています。

【技術料】 診断・修理・調整・点検などの費用です。

【部品代】 修理に使用した部品および補助材料代です。

【出張料】 お客様のご依頼により技術者を派遣する費用です。

※この商品は日本国内専用品ですので、日本国外で使用しないでください。万一、日本国外で使用された場合は、修理サービスはお受けになれません。

商品の情報はホームページでご確認ください。

パナソニック 住まい

検索

<https://sumai.panasonic.jp/>

- 転居などでお困りの場合は、以下のお客様相談窓口にご相談ください。

ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

消耗品・交換部品・後付パーツのご用命は

ハイ・パーツショップサイト

ハイ・パーツショップ

検索

<https://sumai.panasonic.jp/parts/>

ハイ・パーツショップ (一般のお客様用)

フリーダイヤル  **0120-055-802**

※携帯電話・PHS からもご利用になれます。

【受付時間】 月～金 / 9:00～18:00 土・日・祝日 / 9:00～17:00

※GW 休暇・夏季休業・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただく場合があります。

※ビジネスのお客様はお取引先の販売ルートへお問い合わせください。

- 左記番号がご利用いただけない場合は…**06-6906-1224**

修理のご用命は

パナソニック ライフソリューションズ 修理サービスサイト

<https://sumai.panasonic.jp/support/repair/>
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック ライフソリューションズ 修理ご相談窓口

フリーダイヤル  **0120-872-150**

※携帯電話・PHS からもご利用になれます。

【受付時間】 月～土 / 9:00～19:00
日・祝日・年末年始 / 9:00～18:00

- 左記番号がご利用いただけない場合は…**06-6906-1090**

商品の問い合わせは

パナソニック 住まいの設備と建材サポートサイト

<https://sumai.panasonic.jp/support/>

パナソニック 照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター

フリーダイヤル  **0120-878-709**

※携帯電話・PHS からもご利用になれます。

【受付時間】 365日 / 9:00～18:00

- 左記番号がご利用いただけない場合は…**06-6906-1109**

- FAX …………… フリーダイヤル  **0120-872-460**

音声ガイダンスを短くするには

案内が聞こえたら電話機ボタンの「8」と「4#」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「*」ボタンを押してから操作してください。)

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 建築システムビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2020

D0414-5100